横浜天声キリスト教会　週報　第 18 巻 19 号（No.691）　2023 年 5 月 7 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　マタイ 28:18-20 ･･････御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ･････････････････ 305番　春風そよふくごと
*交読文 ･････････････････47番
*使徒信条 ･････････････会衆一同
*頌栄 ･････････････････ 171番　はとのごと降る
礼拝のための祈り ･･････ 成田エクレシア：浪川執事　天声：小林伝道師
聖餐式 ･････････････････ 281番　しみもとがも
メッセージ ･････････････ 神の祝福統治命令(創世記 1:28)
御言葉を適用する祈り ･･ 会衆一同
賛美 ･････････････････ 399番　さかえの王にます主の
幸せと成功の宣言文 ････ 会衆一同
献金感謝の祈り ････････ パスター
報告 ･･････････････････
*主の祈り ･････････････ 会衆一同
*祝祷 ･････････････････ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。わたしにつながっている枝で実を結ばないものは、父がすべてこれをとりのぞき、実を結ぶものは、もっと豊かに実らせるために、手入れしてこれをきれいになさるのである。____は、わたしが語った言葉によって既にきよくされている。わたしにつながっていなさい。そうすれば、わたしは____とつながっていよう。
枝がぶどうの木につながっていなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、____もわたしにつながっていなければ実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、____はその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、____は何一つできないからである。
人がわたしにつながっていないならば、枝のように外に投げすてられて枯れる。人々はそれをかき集め、火に投げ入れて、焼いてしまうのである。____がわたしにつながっており、わたしの言葉が____にとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。____が実を豊かに結び、そしてわたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。(ヨハネ 15:1-8)

メッセージ概要

5 月に入った。今月のカレンダー聖句は「*生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。*」(創世記 1:28)　この祝福は、神のかたちに、神に似せられている人間に与えられた特権である(26 節)。全て命令形なので、これを為すべき分は「私達」に、すなわち、キリストにあって神のかたちとされた私達にある。何の努力もせず自動的に祝福が来る類のものではない。私達が「そうなる」と信じて、実行するなら、神の祝福の法則が発動して、それが実体化される、というものである。

その中の真っ先の命令は、「**生めよ（パラー）**」である。その原意は「実を結べ」「実り豊かなものになれ」。二人称なので、神は「あなた」に直接、一対一で命じておられる。実を結びなさい、実り豊かな者になりなさい、と。私達の結ぶべき実りは、当然、肉の実ではなく、御霊の実であり(ガラテヤ 5 章)、そして神の御前で良い実を結ぶ唯一の道は、**まことのぶどうの木であるイエス様につながり続ける**事だ(ヨハネ 15 章)。
続く命令「**増えよ（ラバー）**」は、「多くなれ、壮大になれ」という意味である。ラバーとなる秘訣は明確で、**主が命じられる命令を守り行う事**である(申命記 8:1、11:13-21、30:16)。もし、主の命令を守り行わず、主の命令に背くなら、その祝福は剥奪されてしまう。事実、エデンから追放されてしまった理由が、それだった。結局、まことのぶどうの木であり、御言葉であられるイエス様につながり続けなさい、という事である。
続く「**地に満ちよ（マラー）**」は、満ち足りる、いっぱいになる、充足する、完成するという意味である。
本来、私達は神の似姿として、この地に充満し、いっぱいにならなければならなかった。しかし、神に逆らう人のほうが地に満ちていった結果、地は神の前にはなはだ堕落し、暴虐に満ちてしまった(創世記 6:11)。
そこで、主は命じられる。「地を従えよ」「すべての生き物を支配せよ」と。「**従えよ（カバシュ）**」は支配下に置く、服従させる、また、足の下に踏むという意味であり、「**支配せよ（ラダー）**」は、優位に立つ、圧倒する意味の他、「足の下に踏む」という意味がこれにもある。そう、私達は本来、地を支配下に置き、服従させ、すべてのものの上に圧倒的優位に立って、物事を足の下に置いて、従わせる、というのが本分である。
それは神から離れた人間にできるものではなく、ただ神と共に歩み、神の似姿となった人にこそ与えられる特権である。神の子は本来、被造物から尊厳をもって敬われる存在で、恐怖支配では決してなかった。
恐怖支配というものは、ノアの洪水以降に始まったものだったが(9:2)、私達は神の似姿としての尊厳を持ち、貴族的に、優雅に支配するものだ。信仰の先人達は、この命令に歩んだ。アブラハムは世の王たちを従え、また、敬われた。イサクもそうだったし、ヤコブも当時最強の王であるパロを「祝福する側」となった。
私達も神の子として歩むなら、世の王たちのほうが恐れをなし、宝物や贈り物を携えて、平伏しに来るのだ。

もし私達が、神の子として尊厳を持たず、また「支配しない」でいるなら、世の者たちや自然界の諸々は、こちらを軽んじ足元を見るようになってくる。サタンもニョロニョロと足元に来て、御言葉にそぐわない事や心をソワソワさせるような事を言って来る。その時、キリストにある権威に立ち、御言葉で正しく支配しないなら、あからさまに牙をむいて、食ってかかるようになる。実際、エデンにおいてそうだった。神と人との愛の関係と信頼関係とを、破壊するような事を、蛇が言って来た時、アダムとエバは御言葉を正しく宣言せず、思い込みの「御言葉もどき」を発し、蛇を追い出せなかった。また蛇の声に聞き入り、言う通りにしてしまったため、人は神の似姿から離れ、権威は剥奪され、蛇（サタン）に頭が上がらない者に成り下がってしまった。

それ故、私達はいつも御言葉なるキリストにつながり続け、「神の似姿」を保つべきである。私達は神の子として、御言葉を信じ宣言し続けているだろうか。自分をきよく保っているだろうか。汚れから出て分離する努力を続けているだろうか。御霊に歩んでいるだろうか。もし御言葉を軽んじ続けるなら、世の側が調子に乗ってリードするようになり、従わせられてしまう。実際、旧約の大部分は、神の似姿から離れてしまったアブラハムの子孫たちが、罪に支配され、悪い者たちに統治され続けて来た、悲惨な歴史で占められている。
私達・神の子たちは、世から従わされたり、世からリードされたりする事は、本質ではない。神の命令を守り、神の似姿となった私達こそ、サタンが握りしめている政治、経済、文化、教育、あらゆる分野の支配権を、取り戻し、その束縛の下でうめいている人たちを解放する立場にあるのだ。イエス・キリストにあっていつも神の似姿をキープし、彼にあって人生の全ての物事を正しく支配し、治めていく私達でありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 19 号　　2023 年 5 月 7 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp